

子どもの金融教育と大人の金融教育

2022年度から、投資や資産形成について学ぶ金融教育が、高校家庭科で必須になりました。日本人の金融リテラシーは欧米に比べて低く、若い世代への教育が重要だといわれてきましたが、ついに義務化となりました。株式や投信など、少し踏み込んだ内容になるようです。これを機会に、ご家庭でもお子さんとお金のお話をしてみたいかかでしょうか？

今の親世代が子どもの頃は、子どもの前でお金のお話することはタブーで、ましてや子どもとお金のお話をするなんてありえない、そんな空気があったように思います。子どもの頃の金銭感覚は、将来にわたり影響するといわれています。大人になっても、お金の管理や運用になると、苦手意識が強い人が多いのではないのでしょうか。

しかし、これからはちょっと頑張って、積極的にお子さんと話してみてください。意外とお金に詳しい我が子に驚くと思います。小・中学校でも、学校によって取り組み方は違いますが、金銭教育が授

業に導入されています。私も、小学校に伺い「お小遣いゲームでお金の管理を学ぼう!」というテーマで出前授業を行っています。小学生なので、模擬のお金を使った決済やお小遣い帳の記帳など、体験学習が中心になりますが、子どもが好きなゲームを通じて、楽しく学んでもらえているように思います。

金融教育は、生きる力を育む教育だといわれています。学校教育で基本的な考え方を学ぶ一方で、生活の中で実践することも大切です。子どもの質問に答えられなかったらどうしよう、親が教えるものだろうかなどと構えないで、日常の買い物や、子どもが利用している音楽や動画配信のサブスクなど、身近な話題と一緒に考えてみるくらいから始めてみてはいかがでしょうか。子どもも大人も、お金について学ぶことをもっと身近に感じ、楽しく学んでもらえたらと思います。

.....
愛媛県金融広報アドバイザー
岡田 純子